

# 島根県西部地震をきっかけに

## わたしたちができること

わたしたちは平成30年に発生した

島根県西部地震で震度5強の揺れを経験しました。

被災からの復興をめざして始まった

活動は、取り残される課題とともに引き継がれています。

プロではないからこそ。

ボランティアだからできることを。

「誰もが幸せに暮らせるまち」を目指して。

個々ができることは限られていま

すが、様々なひとが「できること」

を持ち寄りながら、一歩ずつ前へ進めるように。

このチラシを手に取って下さった

方が、私たちの活動に関心を寄せて

下さることを願っています。

## ボランティア活動として

震災の影響で雨漏りしているお宅に対して、応急的に雨漏りを防ぐ屋根へのブルーシート張りなどの活動が行われています。

この活動について「それは業者の仕事じゃないの」と思われる方もいるのではないのでしょうか。しかし想像してみてください。

金銭的に修繕ができず困っている人がいるとしたら？

近所付き合いが少なく一人で困っている人がいるとしたら？

ボランティア活動は支え合いの取組みです。つまり活動の対象は「モノ」ではなく「ひと」。

そのひとや地域に安心を届けれるように心がけています。



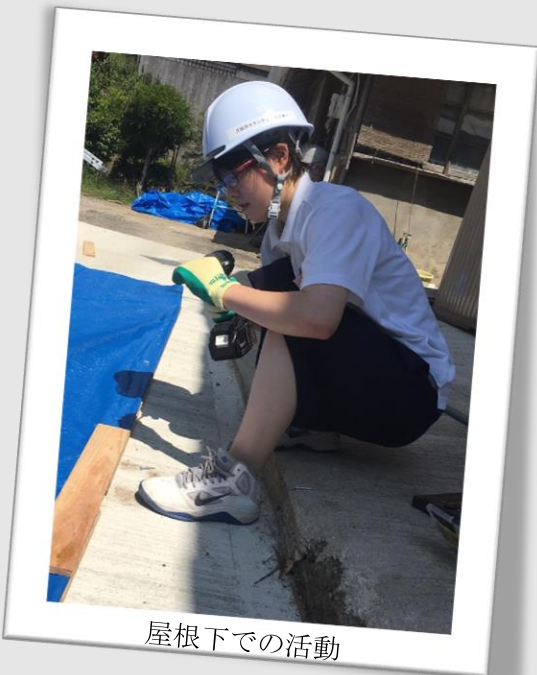
ブルーシートの採寸・資材の準備

## できる「とき」に、できる「ひと」が、できる「こと」を

「災害をきっかけにしたボランティア活動って力仕事でしょ」とよく言われます。そんなことはありません。

傾聴などのコミュニケーション活動、資材の準備や周囲へ安全の声掛け、ひより袋（被災地への応援グッズ）の作成など地域、年齢、性別等に関わらず様々な方が活動されています。活動にお越しいただくだけでなく、物資の面でも多くの方にご協力いただいています。

「わたしにもなにかできないか」「できるときにできることを」といった思いが活動を支えています。



屋根下での活動



ひよりぶくろ（応援グッズ）作成の様子

## 《大田市ボランティアセンターメール登録》

活動の様子、募集情報などをお送ります。

右の QR コードからメールをお送りいただくことで登録いただけます。

